

大阪 需要停滞続き弱気配を払拭できず

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は軟調様子見。東京製鉄の様子見対応が市況下落に歯止めをかけつつ、7月は6月比での生産減に合わせて、電炉需要のさらなる低迷が予測されているため、弱気ムードを払拭しにくい展開にあるようだ。27日時点での地区実勢値はH2が4万～4万1000円、新断バラが4万2000～4万4000円、鋼ダライ粉バラが3万5500～3万8000円(一部上値3万8500円)見当で推移している。

今月は前半と後半にかけて2度の電炉値下げが一巡したが、前半が東京製鉄岡山工場の買値引き下げによる影響が大きかったのに対して、後半は電炉側の荷制限拡大による需給緩和が下押しにつながったと見られ、それぞれで要因が異なっている。足元でも制限買いが

続きつつ、湾岸筋による安定集荷や市中発生量の低迷によって、目立つような荷余り感は見られない。また、市中業者筋も制限下での追加値下げに対する抵抗も強まっているほか、東京製鉄にも値動きがないことにより、「地区単独では下げにくい展開が続くそう」(商社)との声が聞かれる。

ただ、7月が一部の夏季炉休や製品環境難を受け、地区生産は5月と同様の21万トンの台への低迷が予測されている。電炉全般に在庫余力を抱えた状況にあり、電炉筋によっては6月以上に調達意欲の低下が避けられそうもないため、「東鉄の様子見が下支えに過ぎず、需給レベルでの下げ余地は残っている」(電炉購買担当者)と見る向きが多い。

ワンライブ、非鉄金属リサイクル全国連合会の通常総会で講演

(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、土肥容高社長)は5月31日、第一ホテル両国で開催された非鉄金属リサイクル全国連合会の第67回通常総会で講演を行った。



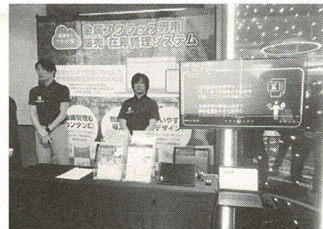
講演する土肥社長

同社は特殊金属やレアメタルなどのリサイクル事業のほか、金属リサイクル業界専用の営業支援を目的としたスマホアプリ「メタライブ」やスクラップの在庫管理システム「メタライブストック」の開発を手掛けており、業界内で注目を集めている企業となる。

今回、土肥社長が講師として登壇し、「5年以内に解

決したい課題」のテーマで講演。土肥社長のプロフィールや事業内容を紹介し、資源供給の不安定性や人材不足と高齢化などの業界を取り巻く環境について解説した。

通常総会後は懇親会が催され、同社は会場内にブースを出展し、「メタライブ」や「メタライブストック」の紹介動画などを展示。ブースには、懇親会の参加者が多数訪れ、システムについて説明を受けていた。



懇親会でブースを出展

人事 合同製鉄 6月24日付で新体制がスタート

合同製鉄(本社=大阪市北区)は6月24日に定時株主総会および取締役会を開催し、同日付けで美濃部慎次氏が代表取締役社長に就任、前社長の内田裕之氏が取締役相談役に就き、新体制がスタートした。役員および執行役員の新任、昇任は以下の通り。敬称略。

■代表取締役社長(新任)=美濃部慎次

■取締役相談役=内田裕之

■常勤監査役(新任)=福田隆樹

【執行役員の昇任】

■常務執行役員線材形鋼事業担当、営業総括部長兼形鋼営業部長=櫻木健二

■常務執行役員大阪製造所長、線材形鋼事業に関する事項につき櫻木常務執行役員を補佐兼ねてトーカイ代表取締役社長委嘱=有働由幸

【執行役員の新任】

■執行役員大阪製造所副所長、同所技術管理部長=宮

川賢二

■執行役員船橋製造所副所長、同所技術管理部長兼製造部長=高宮仁成

サヤミツ産業 有限会社

兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南2丁目29 TEL (079) 247-2510
FAX (079) 247-2511

ステンレス・製鋼原料・铸造原料・アルミ・その他各種スクラップ

SAYAMITSU Inc.